

昭和中学校避難所運営委員会

第1ステップ

[〇〇学校避難所運営マニュアル]作成

「学校避難所運営マニュアル」作成までの経緯

1. 平成19年に市として、災害時における避難者の支援として、「昭島市避難所運営マニュアル」を作成
2. 東日本大震災・台風による大雨災害などの、避難者支援に対する様々な課題が発生
3. この課題を解消するための支援方法を盛り込んだ、新たな「避難所運営マニュアル」作成が必要

4. 平成27年1月「学校避難所運営ガイドライン」作成のための「学校避難所運営ガイドライン協議会」を設置
5. 平成27年9月に学校避難所運営準備委員会を立ち上げ、新たな「マニュアル」作成を開始した
6. 平成28年3月「〇〇学校避難所運営マニュアル」と、「昭和中学校避難所施設配置図」が完成

スケジュール

平成19年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
<p>□ 昭島市学校避難所運営マニュアル</p>	<p>学校避難所運営ガイドライン協議会</p> <p>→</p> <p>学校避難所運営ガイドライン</p>	<p>昭和中学校避難所運営準備委員会</p> <p>→</p> <p>昭和中学校避難所施設配置図</p> <p>○○学校避難所運営マニュアル</p> <p>→</p> <p>昭和中学校避難所運営委員会</p>	<p>◎ 11月20日</p> <p>各活動班委員選任</p> <p>兼 第3回昭和中学校避難所運営委員会 初期訓練</p> <p>→</p>	

第2ステップ

昭和中学校避難所運営マニュアルの作成と、組織、運営方法の
確立ならびに、この昭和中学校避難所運営マニュアル・学校避難所
ガイドラインに基づく訓練で、避難所運営習熟度の向上を図る

1. 目 標
2. 組 織
3. 各活動班の任務
4. マニュアル
5. 訓 練
6. 避難対象地域

1. 目 標

地震が発生し避難が生じた場合、24時間以内は、
自治会・関係団体中心で、避難所を立ち上げ、運営
できるようにする

発災より24時以降は、行政の指揮下に入った委員会
運営ができるようにする

2. 組 織

職 名	氏 名	所 属 団 体 等	
委 員 長	進藤 聡	昭島市企画部企画政策係長	
副 委 員 長 (地域団体代表)	吉田 祐治	第3ブロック長	
副 委 員 長 (施設管理者)	中島 理智	昭和中学校校長	
関係団体選出者	吉田 祐治	第3ブロック長	
同	三浦 和人	八清親和会	
同	佐藤 知典	東中神公団自治会	
同	小正 光弘	都営玉川町自治会	
同	杉本 成	栄町自治会	
同	片倉 弘之	福島第1自治会	
同	野口 栄	福島第2自治会	
同	若尾 ゆかり	主任児童委員	
同	平松 秀治	交通安全協会	
同		PTA	
活 動 班	管理班 班長	三田 幾一	八清親和会
	情報班 班長		
	食料・物資班 班長	三浦 和人	八清親和会
	施設班 班長	今川 伸一	八清親和会
	衛生班 班長	工藤真里子	
	保健・ボランティア班班長		
	総務班 班長		
	交通整理班	平松 秀治	交通安全協会

昭和中学校避難所運営委員会活動班委員

平成28年11月9日現在

	八清親和会	栄町自治会	都営玉川町自治会	東中神公団自治会	福島第一自治会
管理班	◎三田 幾一	<u>杉本 成</u>	<u>小正 光弘</u>	<u>佐藤 知典</u> (青木 義仁)	古谷 政夫
情報班	鈴木 康之		佐門 賢一	久保 恵督 (青木 義仁)	
食糧・物資班	◎ <u>三浦 和人</u>	戸田 芳樹	松坂 和子	若林 多津世 (青木 義仁)	
施設班	◎今川 伸一	小林 浩司	渋谷 正	青木 義仁	安芸 茂継
衛生班	藤田 久登		◎工藤眞里子		
保健・ボランティア班			野田 邦雄	遠藤 寿美	
総務班	鈴木 芳比古				
			注)		
			1. () 複数班ダブリ登録メンバー		
			2. 名前の下に アンダーラインがはいっているのは、運営委員		
			3. ◎ は班長		

3. 各活動班の任務

編成優先順位	活動班	任 務
開設準備期から 必要な活動班	施設班	学校避難所施設・設備状況を把握し、避難所運営 や居住に必要な機能を確保・管理
	管理班	避難者の状況を把握・管理し、円滑な避難所生活 が行えるよう調整する
活動初期から任務 が発生する活動班	保健・ ボランティア班	学校避難所における医療・介護の対応を担当する
	食料・物資班	学校避難所における食料・物資の管理・受け入れ配 布等行う
	交通整理班	自家用車による避難、支援物資の積載トラックなど の校内交通整理・車内宿泊車の駐車管理

編成優先順位	活動班	任 務
避難所運営が進行してから必要により設置していく活動班	衛 生 班	避難所全般、特にトイレやごみ集積所の衛生管理など、生活施設の衛生環境管理 また、入浴管理やペットの管理についても状況により対応
	情 報 班	被害。復旧情報や生活情報などを収集・管理し、避難所内に提供する業務
	総 務 班	学校避難所の運営記録、在宅避難者への対応、相談業務など、

4. マニュアル

- 1) ○○学校避難所運営マニュアル
- 2) 昭和中学校施設配置図
- 3) 学校避難所運営ガイドライン
- 4) 学校避難所開設時何をやるか？
避難所運営訓練レッスンプラン

(平成28年6月20日 昭島市総務部防災課作成)

5. 訓練

初動訓練－1

- 1) 各活動班を含めた、避難所学校施設の再確認
- 2) 備蓄倉庫の備蓄品の確認

初動訓練－2

- 1) ○○学校避難所運営マニュアルの検証訓練により、実効性の高いものにしつつ、「昭和中学校避難所運営マニュアル」を作成する
- 2) 各班の役割面からの避難所施設・設備の細部チェック

実務訓練－1

- 1) 各班単位の個別訓練(図上または、実施訓練)
- 2) 避難開始から避難所立ち上げ・24時間以内の流れに基づく図上訓練 (一部実施訓練)

実務訓練－2

- 1) 避難開始から避難所立ち上げ・24時間以内の流れに基づく模擬訓練

6. 昭和中学校避難所避難対象地域

栄町自治会

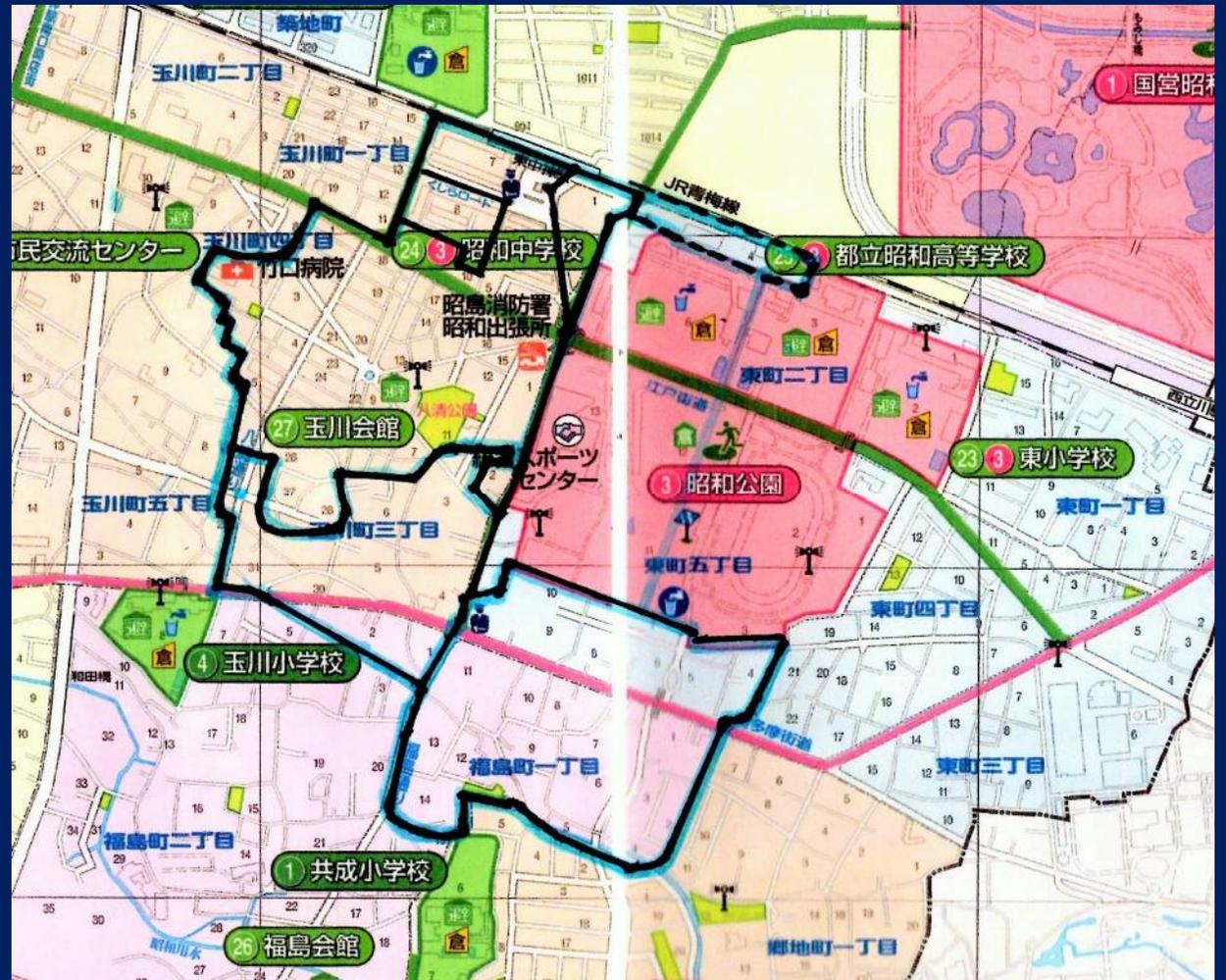
東中神公団自治会

都営玉川町自治会

八清親和会

福島第一自治会

福島第二自治会



今後の検討課題

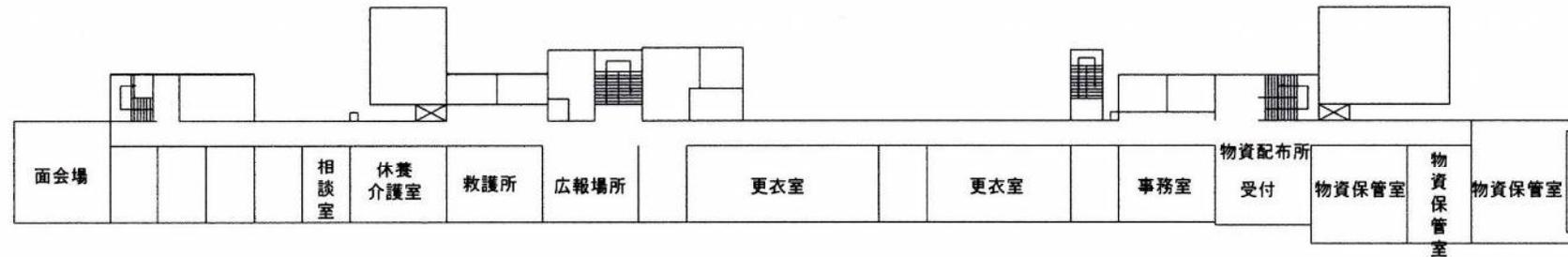
1. 自治会未加入者(含む小規模集合住宅住民)に対し、どのように対応していくか！
2. 自治会未加入大型マンション(30~100世帯)を、どのようにして避難所運営委員会に参加してもらうか！
3. 災害時の要支援者を、避難所にどのように受け入れるか！
4. 東日本大震災、熊本地震などの過去の地震による、避難所の運営実態情報を収集し、活用をどのようにするか！

まとめ

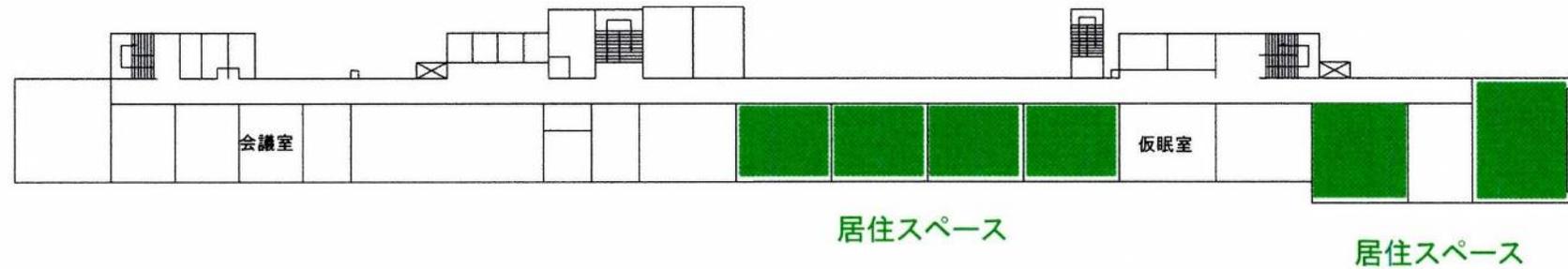
1. 説明最後に当たり、委員長・副委員長はじめ、委員の皆さん、活動委員の皆さんは、実際の「震災避難所」経験はないため、これからの作業ならびに訓練は、試行錯誤の中で行うことになると思われる。
2. したがって、皆さんのご意見・アイデアをどんどん出していただき、マニュアル、訓練などを実効性の高いものにしていきたい。ご協力をよろしく願いいたします。、

昭和中学校避難所施設配置図

1 階

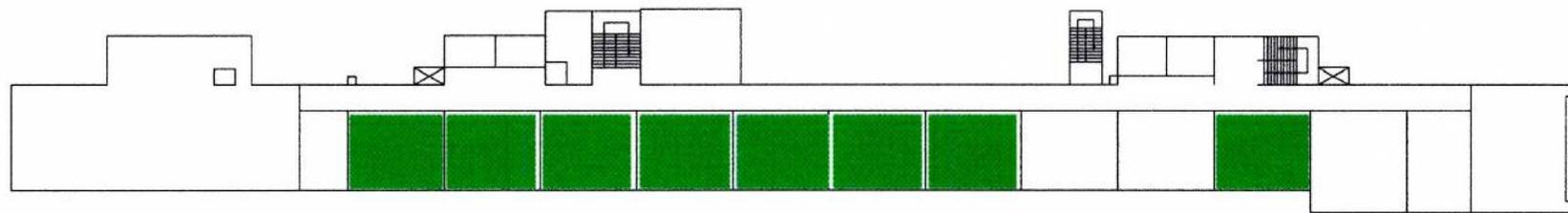


2 階



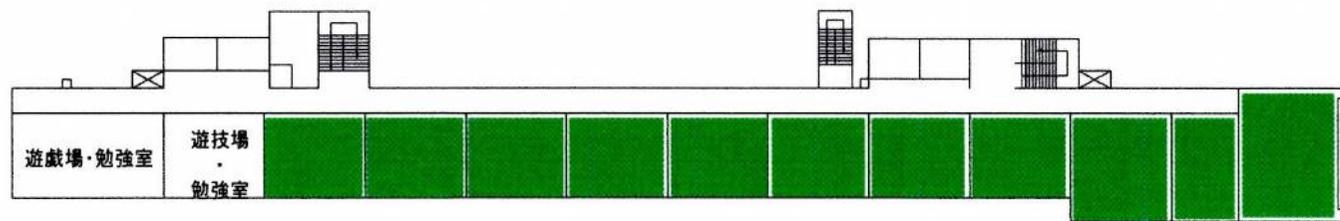
昭和中学校校舎

3階



居住スペース

4階

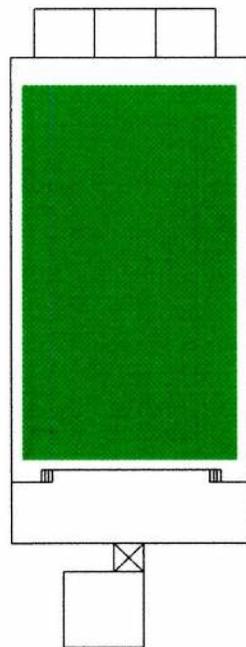


居住スペース

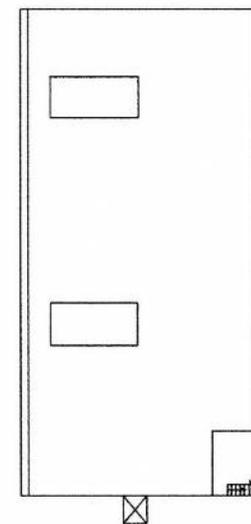
昭和中学校体育館

1階

居住スペース



ギャラリー階



昭和中学校

